

エコアクション 21

環境活動レポート

平成 28 年度

平成 29 年 8 月 30 日

株式会社永光自動車工業

## 1. 事業活動の概要

- ① 事業所名及び  
代表者氏名： 株式会社 永光自動車工業  
代表取締役 木俣博光
- ② 所在地： 千葉県千葉市若葉区小倉町 1301 番地
- ③ 環境管理責任者： 吉野 隆行
- ④ 連絡担当者： 吉野 隆行  
TEL 043-231-8211 FAX 043-231-8466  
E-mail info@ea-net.co.jp
- ⑤ 事業内容  
自動車の整備、钣金、塗装  
自動車の解体業  
自動車保管、運搬事業  
自動車の解体、整備に伴う産業廃棄物の保管・運搬事業  
自動車の販売  
損害保険並びに自動車損害賠償保険法に基づく保険の代理業務  
農機具販売及び修理  
自家用自動車の有償貸渡業  
有価証券の販売
- ⑥事業の規模
- ・総売上： 512,872,456 円
  - ・資本金： 10,000,000 円
  - ・従業員数： 41 名
  - ・床面積： 13,860 m<sup>2</sup>
- ⑦認証・登録内容
- ・事業活動： 自動車の整備、修理、钣金、架装、自動車販売
  - ・対象事業所： 本社・工場
  - ・認証・登録日： 2004 年 11 月 15 日

## 2. 環境方針

### 環境方針

◎当社は、環境とデリケートな関係に立つ自動車に携わる企業の責任として、地球環境の保全に自主的かつ積極的に取り組んでまいります。

◎当社は、自動車の整備、修理、钣金、塗装、解体、架装、販売等全ての活動において、廃棄物の総排出量、電気、燃料、水、化学物質の使用量を最小限にするよう努めます。

◎当社は、自動車整備事業者として、環境に優しいエコ車検、エコ整備サービスを導入し、顧客の理解を得ながら、その普及に努めます。

◎当社はエコマーク商品の優先的購入や環境配慮型商品の購入を推進し、グリーン購入に努めます。

◎当社は、エコドライブを推進します。社用車における走行はもとより、顧客や取引先に対してもエコドライブへの理解と協力を求め、その普及に努めます。

◎当社は、顧客及び取引先に対して自動車に対する正しい知識及び正しい管理についての啓蒙・啓発活動に励み、エコドライブ及び燃費向上管理の普及に努めます。

◎当社は、従業員の環境教育及び環境保全会議等により、環境保全に対する意識の向上を図り、全社一丸となり環境保全へ取り組みます。

◎当社は、当社及び当社事業活動に適用される環境に関する法規等を遵守する事を誓約します。

この環境方針は、全従業員に周知徹底する事とともに社外にも公表します。

平成 23 年 10 月 10 日  
株式会社 永光自動車工業  
代表取締役社長 木俣博光

## 3. 環境目標

### (1) 中期目標の設定

平成 25 年度から前年度比 1.5%の改善を目標に設定しております。

	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	平成 29 年度 目標	平成 30 年度 目標	平成 31 年度 目標
① 二酸化炭素排出量 (電気)	78,173kg (157,606kwh)	78,002kg (156,003kwh)	1.5%減	1.5%減	1.5%減
② 二酸化炭素排出量 (燃料)	39,057kg (16,802ℓ)	39,400kg (16,955ℓ)	1.5%減	1.5%減	1.5%減
③ 廃棄物排出量	24.40t	12.36t	1.5%減	1.5%減	1.5%減
④ 水使用量	616.6 m <sup>2</sup>	607.1 m <sup>2</sup>	1.5%減	1.5%減	1.5%減
⑤ 化学物質 LLC 使用量	996.75kg	872.50kg	1.5%減	1.5%減	1.5%減
⑥ グリーン商品購入量	¥111,987	¥128,739	1.5%増	1.5%増	1.5%増
⑦ リサイクル、リビルト品使用量	5.18%	6.59%	1.5%増	1.5%増	1.5%増

電気の二酸化炭素係数は(0.500kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

## (2) 主要な環境活動計画の内容

- ① 事務所及び作業場で使用する電気を削減する。LED電球への交換を実施、昼休みの消灯、クールビズ、ウォームビズの励行、動力のムダを省くなどの取り組みを実施。
- ② 社用車の燃料使用量を削減するために、ハイブリッド車などの増車を進める。急発進、急加速、急停止をしないよう、車間距離を取り安全で効率的な運転を心がけ、輸送効率化を図る。乾燥用灯油削減の為、ブース運転管理を徹底する。
- ③ 作業場や事務所から発生するごみは分別の徹底化により削減する。車両整備に伴う廃棄物は分別、粉碎処理、圧縮処理によりリサイクル率の向上にあたる。
- ④ 作業場や事務所で使用する水は雨水利用により節水する。
- ⑤ エコ整備・エコ車検による有害排出ガスの低減に努める。
- ⑥ リサイクル部品、リビルト部品などの活用によるリサイクル活動に努める。
- ⑦ フロンガス回収に努め、フロンガスの漏洩防止を図る。
- ⑧ 作業場や事務所で使用するコピー紙は両面コピー利用などにより削減する

## (3) 環境目標の担当部署及び責任者

目標項目	担当部署	責任者
① 二酸化炭素排出量(電気)	財務部	吉野 隆行
② 二酸化炭素排出量(燃料)	財務部	吉野 隆行
③ 廃棄物排出量	钣金技術部	大橋 富美男
③ 水使用量	財務部	吉野 隆行
⑤ 化学物質 LLC 使用量	整備技術部	遊馬 達彦
⑥ グリーン商品購入量	財務部	吉野 隆行
⑦ リサイクル、リビルト品使用量	整備技術部	遊馬 達彦

#### 4. 環境活動の取り組み

##### (1)平成 28 年度の目標と実績

環境目標	平成 27 年度実績	平成 28 年度目標	平成 28 年度実績	増減比率	
				H28 年度実績 /H27 実績	H28 年度目標達成 率
① 二酸化炭素排量 (電気)	78,173 kg (157,600kwh)	77,000kg (155,236kwh)	78,002kg (156,003kwh)	0.2%減 (1.0%減)	14.6% (67.6%)
② 二酸化炭素排量 (燃料)	39,057kg (16,802ℓ)	38,471kg (16,550ℓ)	39,400kg (16,955ℓ)	0.9%増 (0.9%増)	▲243% ▲99%
③廃棄物排出量	24.40 t	24.03t	12.36t	49.3%減	3,341%
⑧ 水使用量	617.0 m <sup>2</sup>	607.7 m <sup>2</sup>	607.1 m <sup>2</sup>	1.6%減	106.5%
⑤化学物質 LLC フロン等使用量	997kg	982kg	873kg	12.4%減	826.6%
グリーン購入	111,987 円	113,667 円	128,739 円	13.3%増	997.1%
リサイクル、リビルト 部品使用量	5.18	5.26%	6.59%	27.2%増	1590.2%

##### (2)平成 28 年度の取組結果の評価と次年度の取組内容

###### ① 二酸化炭素排出量(電気)

電気の使用量は、大型車・特殊車の架装および塗装が増加したため増加傾向にあったが、作業工程の見直しを行い微減となった。冷暖房設備を増やしたが、温度管理を徹底（冷房 28 度程度、暖房 20 度程度）し電気使用量を抑制した。また、事務所内の照明を LED 電球に交換し電気使用量削減につながった。

###### ③ 二酸化炭素排出量(燃料)

燃料の使用量は前年より増加した。社用車を古い車両から新しい車両に入替えを推進し、燃費向上を目指したが社用車を 10 台増やしたため、燃料使用量は僅かに増加した。今後は、予定管理システムによる社用車の管理、エコドライブの実施により燃料削減を進めたい。

###### ④ 廃棄物排出量

廃棄物は前年度より大幅に減らすことができた。減少した要因は、廃油（前年実績 13.55 t）をマニフェストから販売に転換したことによるが、今後もリサイクル材料で利用できる物がないか確認して、廃棄量を極力減らしてゆきたい。

###### ⑤ 水使用量

水使用量は目標通り削減できた。大型車両の入庫が増えているが、節水を心掛け使用量を削減して行く。洗車機の修理で乗用車の水使用を減少させた。

⑤ 化学物質使用量は目標を上回って削減ができた。

⑥ 文房具等、事務用品はグリーン購入対象品目を大幅に増やし、金額も増加したが、今後はコピー用紙を裏紙利用、両面印刷等により削減してゆきたい。

⑦ 車部品のリサイクル、リビルト製品の購入を進めた結果、前年実績 5.18%に対し今年度 6.59%と大幅に比率を高めることができた。今後も引き続きリサイクル品の活用を推進してゆきたい。

## 5. 関連法規への違反、訴訟等の有無

27年度取り組み期間中、環境関連法規への違反はありません。  
過去3年間、関係当局による違反の指摘や訴訟等はありません。

## 6. 代表者による評価と見直し(平成28年度)

### ■環境方針

変更の必要性なし。

ガイドライン2009年版に則り引き続き推進する。

### ■目標

変更の必要性なし。新しい目標設定で活動を推進する。

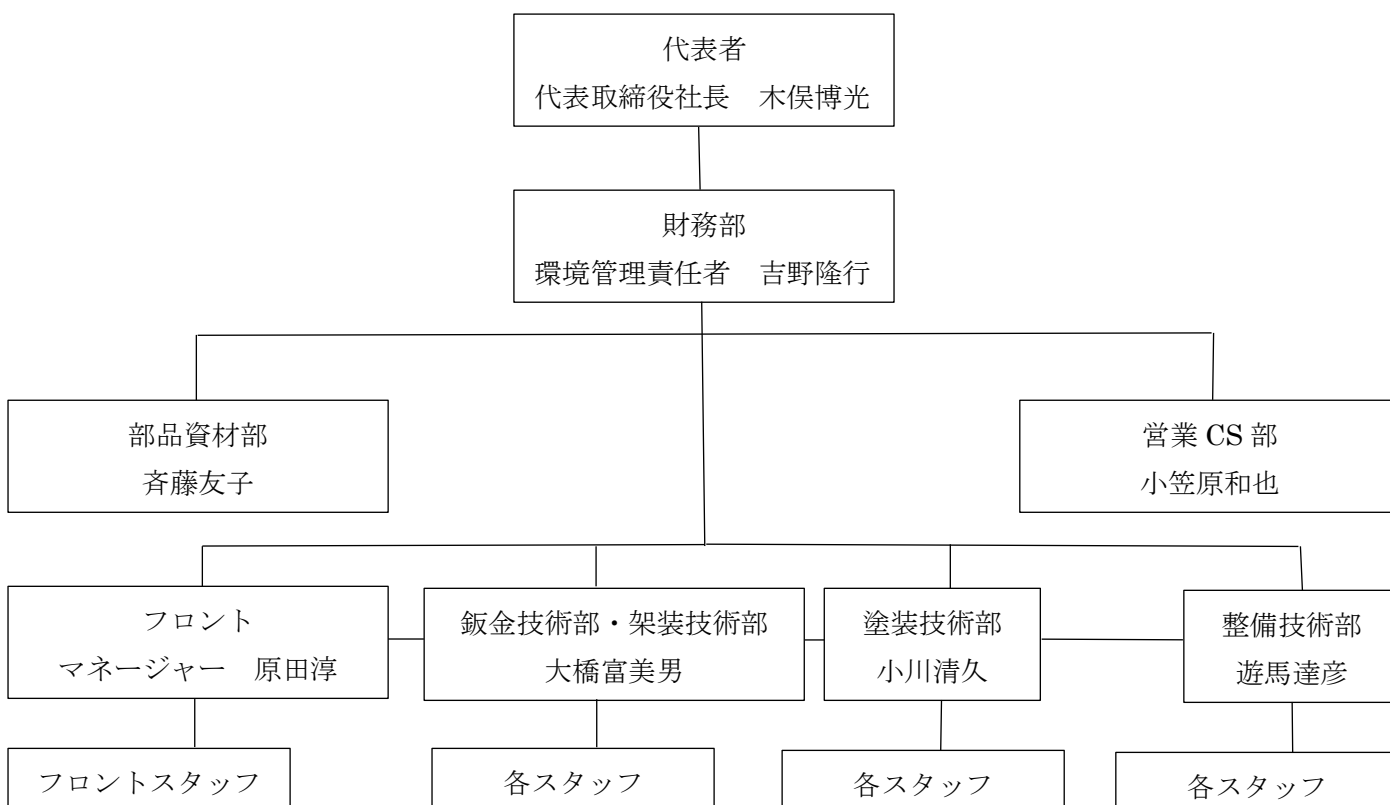
### ■環境活動計画

変更の必要性なし。今までの計画を推進する。

### ■実施体制と取組結果

取り組み結果はまずまずである。

今まで以上に全従業員の意識を高める。



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任者。</li> <li>・環境方針の策定及びシステム実施に必要な資源(人的・物的・財務的資源)を準備</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境目標、環境活動計画を承認。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> <li>・環境活動レポートの承認。</li> </ul>
環境管理責任者 財務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成。</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動実施計画書の作成。</li> <li>・環境活動レポートの作成。</li> <li>・従業員に対する教育訓練計画の策定、実施</li> <li>・省エネ対策、紙資源の削減</li> <li>・CO2 排出量の削減</li> <li>・廃棄物、化学物質等排出量の記録管理</li> </ul>

営業 CS 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客へ環境配慮商品(エコ車検、エコメンテ)の提案</li> <li>・営業車、社用車のエコドライブに努める</li> </ul>
部品資材部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達推進</li> <li>・化学物質等購入量の記録管理</li> </ul>
フロント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客へ環境配慮商品(エコ車検、エコメンテ)の提案</li> <li>・顧客へリサイクル部品使用の提案</li> </ul>
钣金技術部 架装技術部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の排出抑制、置き場管理</li> <li>・顧客へリサイクル部品使用の提案</li> </ul>
塗装技術部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機溶剤の使用削減、保管管理</li> </ul>
整備技術部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の排出抑制(廃部品、廃油類)</li> <li>・化学物質の使用抑制、保管管理(フロンガス、LLC)</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・所属部署の役割を自覚し、自主的かつ積極的に環境活動へ参加</li> </ul>